

## 大分県方言文献目録(3)

二階堂, 整  
福岡女学院短期大学講師

<https://doi.org/10.15017/10406>

---

出版情報 : 文献探究. 25, pp.1-9, 1990-03-31. 文献探究の会  
バージョン :  
権利関係 :

# 大分県方言文献目録(3)

二階堂 整

- 192 糸井 寛一 1975(S50)・5 「豊日・肥筑方言——各地方言の実態と音声上の特色——」 『新日本語講座』3(現代日本語の音声と方言) 汐文社
- 193 松井 康秀 1975(S50) 『豊前方言手帳』(自刊)
- 194 中津江村教育委員会編 1975(S50) 「津江言葉」『中津江の文化』3
- 195 明野東小学校PTA郷土社会クラブ 1975(S50)? 『郷土方言集』(自刊・謄写版) K<大分(豊後)・東北(気仙沼・釜石)・四国(宇和島)・姫島の方言語彙を比較>
- 196 日田市総務企画室編 1975(S50)~1979(S54) 「日田弁あれこれ」『広報ひた』K
- 197 大分市立南大分小学校開校百周年記念誌編集委員会 1951(S51)・7 「さぶた——うったちの百年——」『大分市立南大分小学校開校百周年記念誌』122~140頁
- 198 藤原 正教編著 1976(S51) 「大分県の主な方言」『ぼくらの大分県——郷土の地理と歴史——』(ポプラ社の県別シリーズ1)215~221 ポプラ社<175等を参考にしている>
- 199f j 楠本 藤吉 1976(S51) 『豊前の方言』(自刊)<随筆・語彙集、文例付>
- 200 南山田ゼミナール 1977(S52) 「玖珠地方の方言」『九重大学研究資料集』60~71 九重町中央公民館
- 201 糸井 寛一・種 友明 1977(S52)・3 「大野川流域における可能表現」『大野川——自然・社会・教育——』340~349 K <大野郡三重町赤嶺>
- 202 本堂 寛一 1977(S52) 「大分県の方言」『国語学研究事典』明治書院 447頁
- 203 酒井 豊蔵 1977(S52) 「忘れがたい言葉のナマリ」『観光姫島』国東半島文化研究所
- 204 蒲江町教育委員会 1977(S52) 「蒲江ことば」『蒲江町史』568~582 蒲江町 K
- 205 今永 正樹 1977(S52) 「ふるさとの『方言番付』」『豊前中津地方ふるさとの年表』140頁 ふるさと豊前中津の会 K
- 206 松田 正義 1977(S52)・2~1981(S56)・3 『大分の方言』朝日新聞(連載)K<記事切り抜き集>
- 207 大分県農政部 1978(S53)・2 『ふるさとの味 おおいた』VII 128~129
- 208 種 友明 1978(S53)・4 『方言文法の全国調査のための準備調査報告』国立国語研究所
- 209 種 友明 1978(S53)・4 『表現法の全国調査のための準備調査報告』国立国語研究所
- 210b 右藤 大一 1978(S53) 『日田方言考』(自刊)K<音韻・アクセント・語法・語彙>
- 211 小野 喜美夫 1978(S53) 「九重地方の方言」原田 種夫・立石 敏雄著『九重風物誌』105~117 梓書房
- 212 奥村 三雄 1978(S53) 「九州諸方言アクセントの系譜」『九州文化史研究所紀要』23、55~79 九州大学文学部九州文化史研究所
- 213 松田 正義 1978(S53)・6 「ことわざお国めぐり——大分の巻——」『言語生活』筑摩書房

(2)

- 214 真玉町誌刊行会 1978(S53) 「真玉の方言」『真玉町誌』429～434 K <狂言「ぶす」を真玉方言で表現した話あり>
- 215 佐藤 芳雄編 1978(S53) 「牧(大分市)の方言」『牧のあゆみ』114～117 牧ついたち会 K
- 216 川崎 洋 1978(S53) 「8、そげなこつ言うといやたりわしがせにやならんごつなる」『方言の息づかい』186～188 草思社 K <東国東郡国見町>
- 217 松田 正義 1978(S53) 『古方言書の追跡研究』明治書院
- 218 種 友明 1978(S53)～1980(S55) 『各地方言収集緊急調査——大分県——』文化庁
- 219 種 友明 1979(S54) 『表現法の全国的調査研究——準備調査の結果による分布の外観——』<安岐町・前津江村・清川村>
- 220f 渡部 之夫・佐藤 八重子 1979(S54)・3 『大分県方言集成』(自刊)K <今までの大分方言の語彙集を集大成したもの。共通語索引つき。出典 東條 操『全国方言辞典』『分類全国方言辞典』(東京堂)、豊後浄瑠璃、035、173、175、015、032、046、178、063>
- 221a 糸井 寛一 1979(S54)・2 「大分県野津町方言——人体語彙について——」平山輝男編『全国方言基礎語彙の研究序説』217～219 明治書院<大野郡野津町日当>
- 222f 糸井 寛一 1979(S54)・2 「大分県野津町方言——人体語彙について——」平山輝男編『全国方言基礎語彙の研究序説』409～413 明治書院<大野郡野津町日当>
- 223f 明治村史編纂委員会編 1979(S54) 「方言・訛言」『明治村史』81～83 明治村(大分市) K
- 224e 日高 敏子 1979(S54) 「大分県南海部郡蒲江町大字西野浦における形容詞語彙について——接尾辞について——(昭和53年度卒論要旨)——」『梅光方言研究』1、19～22 梅光方言研究会
- 225a 松田 正義 1979(S54) 「大分県方言の概観」『大分県百科事典』OBS大分放送局<概説・研究史・文献目録> \
- 226 室山 敏昭・上野 智子 1980(S55) 「姫島共同学術調査報告 国語班調査報告書——大分県姫島の海岸・海上地名——」『内海文化研究紀要』8
- 227 種 友明 1980(S55) 「地域語における動詞の活用の型の減少化——大分県佐伯市の場合——」大分大学教育学部編『豊後水道域——自然・社会・教育——』531～541
- 228 柳井 ふさの 1980(S55) 「大分県臼杵市方言の動詞及び形容詞の活用(卒論要旨)」『九大言語学研究室報告』1、64～65 九州大学文学部言語学研究室
- 229 宇都宮 泰永 1980(S55) 「豊前地方の方言」『豊前路の民話と伝説』184～194 鷗和出版(東京) K
- 230i 安部 鷹満 1980(S55) 『しゃれことば』杵築方言研究会 K <杵築のしゃれことばを集める>
- 231 種 友明・日高 貢一郎 1981(S56) 「大分県津江地方の可能表現」『大分大学教育学部紀要——大分県津江地域特集——』5(6) 51～62 K <日田郡中津江村大

字柄瀬字川辺>

- 232 早田 輝洋 1981(S56) 「大分県臼杵市方言のアクセント——用言の活用を中心に——」『長谷川松治教授古稀記念論文集』29～82 東北学院大学コトバの会
- 233d 木部 暢子 1981(S56) 「豊前方言のアクセント——二拍2類名詞——」『文献探究』9、33～45 文献探究の会(九州大学文学部国語国文研究室)
- 234 松田 正義 1981(S56) 「大分弁・豊前と豊後」『西日本新聞 新年号』
- 235 種 友明 1981(S56)～1983(S58) 『方言文法資料図集』(1)～(3) 国立国語研究所<安岐町・前津江村・清川村>
- 236 糸井 寛一 1982(S57) 「大分県方言」『角川小辞典』33(『全国方言辞典』1 県別方言の特色)258～262 角川書店<大野郡野津町日当>
- 237 渡部 之夫 1982(S57) 『大分県方言集成補遺』(自刊)K<221の正誤と増補出典 239、211、119、085 221参照>
- 238 室山 敏昭 1982(S57) 「大分県姫島の魚類名語彙」『講座 日本語の語彙』8(方言の語彙)319～354 明治書院
- 239f 石井 健次 1982(S57) 『臼杵の方言を語る』(自刊)K<主に語彙について>
- 240 糸井 寛一 1982(S57) 「大分県野津町方言」『角川小辞典』34(『全国方言辞典』2 県別人体語彙の体系)331～338 角川書店<大野郡野津町日当>
- 241cd 広島大学方言研究会 1982(S57) 「大分県姫島方言の研究(1)——音韻・アクセント——」『広島大学方言研究会会報』27
- 242f 山香町誌編集委員会 1982(S57) 「山香の方言」「山香の方言番付表」『山香町誌』744～747、1145頁 山香町 K<山香の方言語彙と山香方言による豊後浄瑠璃>
- 243j 小郷 穆子 1982(S57) 「大分弁」原田種夫他『九州方言考——ことばの系譜——』117～148 読売新聞社 K
- 244 種 友明 1983(S58) 「動詞の活用の種類の実態——大分県国東半島の場合——」大分大学教育学部編『国東半島——自然・社会・教育——』581～591 K<姫島・国東町堅来 245参照>
- 245 日高 貢一郎 1983(S58) 「大分県国東半島の可能表現」大分大学教育学部編『国東半島——自然・社会・教育——』579～585 K<姫島村南浦・国東町堅来・豊後高田市水取・安岐町成久 244参照>
- 246 糸井 寛一 1983(S58) 「大分県の方言」『講座 方言学』9(九州地方の方言)237～266 国書刊行会
- 247f 本匠村史編さん委員会 1983(S58) 「村のことば」『本匠村史』377～418 K
- 248 藤延 晨 1983(S58) 「国東方言アラカルト」『月刊 郷土史 大分懸人』(9月号)58～60
- 249f 上浦町生活史編さん委員会 1983(S58) 「方言」『上浦町生活史』137～152 上浦町 K
- 250 広津留 良一 1984(S59)・11 『鶴見町の主な方言』鶴見町教育委員会
- 251b 狭間町誌編集委員会 1984(S59) 「ことば」『狭間町誌』690～715 狭間町 K<語彙・音韻・文法・敬語・談話資料>

(4)

- 252 石井 健次 1984(S59) 「臼杵方言の史的考察」『臼杵史談』75、23～33 臼杵史談会
- 253 榎木 干城 1984(S59) 「玖珠の方言と標準語」『九重寿大学研究資料集』10、47～50 九重町中央公民館
- 254 糸井 寛一 1984(S59) 「大分県2地点の方言におけるザ行音・ダ行音」平山輝男博士古稀記念会編『現代方言学の課題』2(記述的研究編)101～122 明治書院<日田郡続木・大分市元町>
- 255 大分県高等学校国語教育研究会編 1984(S59) 「大分県の方言」『総合国語辞典』279～280 K <語法・語彙>
- 256 松田 正義 1984(S59) 「『俚言鈔』を追跡する——大分県日田方言の場合——」平山輝男博士古稀記念会編『現代方言学の課題』3(史的研究編)611～640 明治書院<011参照>
- 257 松田 正義 1984(S59) 「文芸と大分弁」『ほるとの樹』5、1～7 ほるとの会(大分市) K
- 258 松田 正義 1984(S59) 「だいじにしたいお国ことば(大分)」『国文学 解釈と鑑賞』49(7) 至文堂
- 259gf 直入町誌刊行会編集委員会 1984(S59) 「直入町の方言」『直入町誌』1096～1109 直入町 K <語彙は237、談話は111より引用>
- 260 広津留 良一 1984(S59) 『鶴崎町の主な方言——主として沖松浦——(南海部郡)』
- 261 大分県教育委員会 1985(S60) 「大分県の方言」『大分県文化財調査報告』70 大分県教育委員会 <宇佐市・国東町・狭間町・佐伯市・前津江村 主として談話資料>
- 262j 梅木 秀徳・日高 貢一郎・山口 恵美子 1985(S60) 「座説 おおいた弁再発見——ことばにみる県民性——」『広報おおいた——特集 ことばと文化——』7月号 6～11 大分県広報公聴課
- 263 松田 正義 1985(S60) 「大分方言素描」『広報おおいた——特集 ことばと文化——』7月号 12～13 大分県広報公聴課
- 264 松田 正義 1985(S60) 「大分県方言の優等生(6)」『ほるとの樹』大分の教育を想う会(21号より連載中) K
- 265 山口 幸洋 1985(S60)・9 「東京式諸方言の文節アクセント体系」『国語学』14 2
- 266 松田 正義 1986(S61)・10 「玖珠方言の30年」『玖珠郡史談』17 玖珠郡史談会
- 267 松田 正義・日高 貢一郎 1986(S61) 「山国の方言」『山国町郷土誌叢書』15 下毛郡山国町教育委員会
- 268 北村 昭二 1986(S61)・10 「姫島の地名」『姫島村誌』452～464 東国東郡姫島村
- 269 北村 昭二 1986(S61)・10 「姫島の方言」『姫島村誌』429～451 東国東郡姫島村
- 270 藤原 与一 1986(S61) 「大分県東国東郡安岐町朝来の方言記述」『昭和日本語

の方言』6 三弥生書店

- 271 二階堂 整 1986(S61)・10 「日田市のアクセント」『第43回方言研究会発表原稿集』
- 272 添田 建治郎 1987(S62)・3 「萩市見島の方言アクセントをめぐって」『国語学』148
- 273 井上 博文 1988(S63) 「肥筑方言・豊日方言における動詞接頭辞の地域性」広島大学方言研究会編『方言研究年報』30 和泉書院
- <年代不明>
- 274 青木 要 『方言調査漫語 及 文例訳』<姫島村 手書き原稿 国立国語研究所図書館所蔵>
- 275 長野 秀 『方言手帳 付録(大分)山香言葉の抜き書』<手書き原稿 国立国語研究所図書館所蔵>
- 276 瀬郡 敦 『方言調査案』<中津市 国立国語研究所図書館所蔵>
- 277 佐藤 猛夫 『豊後辯覧』<大分市東新町元木内 手書き原稿 国立国語研究所図書館所蔵>
- 278 平松 日吉 「大分県」『地方言語調査報告(52) 終助詞による待遇表現』<1952年度調査報告書 手書き原稿 国立国語研究所図書館所蔵>
- 279 平松 日吉 「大分県」『地方言語調査報告(52) これからの敬語所感』<1952年度調査報告書 手書き原稿 国立国語研究所図書館所蔵>
- 280 井之口 章次 「続ときおり雑記——三重町——」『民間伝承』13(1)
- 281 上鶴 真由美 「大仏方言を研究して」『教室』9、32～34 大分大学学芸学部 <安心院町>
- 282 松田 正義 『方言生活の実態』『大分県方言の旅』録音資料 K <オープンリール、カセットテープ 大分県立図書館視聴覚室 085、111参照>
- 283 大分県立図書館 『大分の方言』K <大分方言に関する新聞記事の切り抜き集>
- <著者不明・年代不明>
- 284 『豊後浄瑠璃 羅生門鬼退治之段』K
- 285 境子 「豊前国方言」『風俗畫報』150 <目録07>
- 286 『速見郡誌資料』<目録07>
- 287 『宇目郷案内』<目録01>
- 288 『西国東郡方言等二関スル調査』K
- 289 『大分方言資料雑集』<052、053、029を収集 国立国語研究所図書館所蔵>
- 290 『佐伯市の方言』<婦人会のパンフレット>
- 291 『虫の方言』<宇佐 農業改良所>
- <文学に現れた方言>
- 292 宮本 清 1934(S9)・3 『豊後の奇人 吉四六さん物語』豊州新報社
- 293 鈴木 清美 1943(S18)・12 『直入郡昔話集』(柳田国男編「全国昔話記録」双書)三省堂
- 294i 土屋 北彦 1971(S46) 『大分県の民話』3 大分県民話刊行会

- 295i 阿部 通良・後藤 貞夫・鈴木 清美 1975(S50) 『大分県昔話集』(全国昔話資料集成17)岩崎美術社 <速見地方・北海部郡・宇佐地方>
- 296 田城 拡 1978(S53) 『ふるさとに残る武蔵の昔話』1 東国東郡武蔵町教育委員会
- 297 田城 拡 1980(S55) 『ふるさとに残る武蔵の昔話』2 東国東郡武蔵町教育委員会
- 298 西高国語サークル 1983(S58) 『ほとけの里の民話』<大分合同新聞県北久大版の民話記事の連載 S57・11・5～S58・3・12をまとめたもの。西国東郡・豊後高田市>
- 299 榎林 滉二 1981(S56) 「近代文学に現れた全国方言 九州 附 沖縄」藤原与一先生古稀御健寿祝賀論集刊行委員会『藤原与一先生古稀記念論集 方言学論叢 II ——方言研究の射程——』三省堂 <大分県は447～448 国木田 独歩『鹿狩』野上 弥生子『海神丸』『迷路』『明月』横光 利一『旅愁』『蠅』『芋と指環』梅崎 春生『生活』『無名颯風』柏原 兵三『徳山道助の帰郷』>
- 300 国木田 独歩 1964(S39)～1967(S42) 「鹿狩」『国木田独歩全集』全10巻 学習研究社
- 301 野上 弥生子 1949(S24)～1952(S27) 「海神丸」『野上弥生子選集』全7巻 中央公論社
- 302 野上 弥生子 1949(S24)～1952(S27) 「迷路」『野上弥生子選集』全7巻 中央公論社
- 303 野上 弥生子 1949(S24)～1952(S27) 「明月」『野上弥生子選集』全7巻 中央公論社
- 304 横光 利一 1955(S30)～1956(S31) 「旅愁」『横光利一全集』全12巻 河出書房
- 305 横光 利一 1955(S30)～1956(S31) 「蠅」『横光利一全集』全12巻 河出書房
- 306 横光 利一 1955(S30)～1956(S31) 「芋と指環」『横光利一全集』全12巻 河出書房
- 307 梅崎 春生 1966(S41)～1967(S42) 「生活」『梅崎春生全集』全7巻 新潮社
- 308 梅崎 春生 1966(S41)～1967(S42) 「無名颯風」『梅崎春生全集』全7巻 新潮社
- 309 柏原 兵三 1973(S48)～1974(S49) 「徳山道助の帰郷」『柏原兵三作品集』全7巻 潮出版社
- 310 水上 勉 『木綿恋い記』読売新聞 <257による>
- 311 門田 照子 詩集『巡礼』 <全編、豊後弁で綴る。257による>
- 312 小野 茂樹 1970(S45)・5 『大分県と文学』藤井書店

付記 国立国語研究所図書館所蔵の本(28、29、274～279、289)は、非公開の旨、御了解いただきたい。

＜地域別文献番号分類表＞

(大分市)30f 35ef 150f (別府市)30f 35ef 37 (中津市)30f 54 101 163 276 (日田市)  
 11 14 51 61 80 196 211b 256 (佐伯市)97 228 232 239f 252 (臼杵市)91 228 232  
 239f 252 (津久見市)---(竹田市)20 31 138 (豊後高田市)163 298 (杵築市)102 113  
 155f 163 230i (宇佐市)28 30f 95 261 295i  
 (西国東郡)30f 35ef 288 298 (東国東郡)24 30f 35ef 163 (速見郡)30f 35ef 163  
 286 295i (大分郡)30f 35ef 163 (北海部郡)30f 172 295i (南海部郡)30f 35ef (大  
 野郡)30f (直入郡)35ef 293 (玖珠郡)200 253 266 (日田郡)11 14 51 80 256 (下毛  
 郡)---(宇佐郡)28 103 305i  
 / (太田村)163 (真玉町)214 (香々地町)---/(国見町)167f 216 (姫島村)21 70 76  
 226 238 241cd 244 268 269 274 (国東町)261 (武蔵町)296 297 (安岐町)219 235/  
 (日出町)58 182 (山香町)18 242f 275/(野津原町)---(狭間町)251b 261 (庄内町)--  
 -(湯布院町)---/(佐賀関町)30f 172 295i / (上浦町)249f (弥生町)---(本匠村)247  
 f (宇目村)287 (直川村)259gf (鶴見町)250 (米水津村)---(蒲江町)205/(野津町)  
 135f (三重町)56 64 145 148dh 280 (清川村)219 235 (緒方町)---(朝地町)---(大野  
 町)---(千歳村)188f (犬飼町)---/(荻町)---(久住町)---(直入町)---/(九重町)---  
 (玖珠町)163 / (前津江村)167 219 235 261 (中津江村)167 194 (上津江村)163 167  
 (大山町)---(天瀬町)---/(院内町)---(安心院町)174fg / (三光村)---(本耶馬溪町)  
 --- (耶馬溪町)95 (山国町)267/

＜福岡女学院短期大学講師＞



